

## WPSとは？

- ・紛争、災害等発生時により脆弱な立場に置かれる女性、  
 女児等は特に保護すべき対象であると認識して保護・  
 救済に取り組みつつ、
- ・女性が指導的及び主体的に、紛争解決や災害対応の  
 あらゆる段階に参加

▶ ジェンダー視点を反映することで、より持続的な  
 平和に資することができるという考え方

## 国連とWPS

### なぜWPSが生まれたのか？

1990年代の内戦により



1990年代 旧ユーゴスラビア内戦

性暴力が国際的な問題になる



1995年 世界女性会議

紛争解決の意思決定への  
 女性の参加増大を目指す



1998年 国際刑事裁判所規程

紛争下の性的暴力は戦争犯罪と明記



2000年、国際紛争の予防・平和維持等  
 あらゆるレベルで女性を「積極的主体」と  
 して位置付けた初めての国連安保理決議  
 である「女性・平和・安全保障に関する  
 決議第1325号」が全会一致で採択

## 日本とWPS 日本政府の取組

- ・WPSに関する行動計画を策定
- ・日本は多くの大規模自然災害を乗り越えてきた  
 経験から、防災や災害対応にもWPSを推進して  
 いることが特徴

## 防衛省・自衛隊とWPS

- ・2024年4月、防衛省WPS推進計画を策定して以降、4つ  
 の柱に基づき、WPSの取組を推進

### 4つの柱（イメージ）



- ・自衛隊は、国内外で国民の生命、身体等の保護を要する  
 場面が増加していること等を踏まえて、脆弱な立場に置か  
 れる人々を特に保護すべき対象としている
- ・自衛隊の活動にジェンダー視点を反映させることが、組織  
 を多様化させ、オペレーションの効率化と防衛力の抜本的  
 強化のためにも重要

この資料は、WPSの概要や防衛省の取組についてわかりやすい  
 表現で説明したものです。詳細は、防衛省のWEBサイトや  
 パンフレットをご確認ください

<https://www.mod.go.jp/j/approach/wps/index.html>

WPSパンフレット



## 防衛省・自衛隊の災害派遣活動 における女性・平和・安全保障 (WPS)の取組



防衛省・自衛隊

## 自衛隊と災害派遣活動

自衛隊は、自然災害をはじめとする各種災害の発生時に地方公共団体などと連携・協力し被災者の捜索・救助、医療、給水、給食、人員輸送、物資輸送などの様々な活動に取り組んでいます



捜索・救助



医療支援



給水支援



給食支援



人員輸送



物資輸送

### ～用語の定義～

ジェンダー：社会的及び文化的に形成された性別。生まれつきの生物学的性別（セックス）とは異なる  
ジェンダー視点：ジェンダーによって異なるニーズ・利益について考える視点

## 自衛官の約9割は男性

しかし、自衛隊が接する国民は男性と女性が約半数ずつという現実

➡ ジェンダー視点を踏まえた活動が重要

## 災害派遣活動における自衛隊のWPSの取組事例



ニーズ把握

孤立地域の被災者の多様なニーズも把握できるようにニーズ把握隊に女性隊員を加えることで、女性特有のニーズも聞き取ることが可能となりました



給水支援

給水した水タンク等は重いので、女性や高齢者等では運搬が困難な場合、給水所から車両や自宅等までの運搬支援を行いました



人員輸送

女性や高齢の被災者等のヘリコプターの乗り降りを考慮し、身体に接触する場合は事前に許可を得た上で、被災者を支える等の支援を行いました



医療支援

避難所を回って避難者の健康状態を確認する際、女性特有の疾患を男性隊員に話すことを躊躇する方々がいることを踏まえ、女性隊員が付き添って対応しました



入浴支援

地方自治体が準備したベビーベッドやパーティションを設置する等、自治体と連携し、乳幼児や高齢者等にも配慮した入浴支援を実施しました



物資輸送

被災者の中には物資配給場所に行くことが困難な方々もいるため、被災者の自宅や近傍で物資輸送を実施しました